## 南あわじ市 平成 19 年度 事務事業評価シート □ 新規 ☑ 継続 ( 団体用)

I 基本事項							整理番号	153
事 業 名	交通安全協会各支部補助金		소	予	会計	一般会計		
Ŧ * 'I	文通文主册云百文印册的亚			算	款	総務費·2	款	
担当部課名	<b>7</b> 市民生活部 生活環境課			科	項	総務管理	費・1項	
電話	0799 - 43 - 5024			目	目	交通対策	費·10目	
事業分類	■ 義務的(法定)事務		法的根据	処				
争未刀积	V	任意的(自治)事務	(法令、条例、	要綱等)				
まちづくりの柱			安らぎづくり	元気あ	<u> ふれ_</u>	住んで快通	質なまちづく	)
南あわじ市総合計画 施策体系		まちづくりの目標	とにかく「いのち」が一番【安全】					
		施策目標	防犯や安全への意識を高め、子どもや市民を危険から守			から守る		

## Ⅱ Plan & Do (計画・事業内容、団体内容、投入資源)

Щ	Plan	<b>&amp;DO(計画</b>	・争耒内谷、		入汉八貝派	<u>.)                                      </u>			
		+ + 1- 1° + 'Z			の人を、構成員内		<b>#L</b> / <b>l</b> \		
		南あわじ父連ざ ク、南あわじ交通			交通安全協会西洋		奴(人)		
		ロック、南淡ブロック、南淡ブロック			170文选女主励艺	29	4		
	目   的	活動目的(どの	ような状態になって	てもらいたいのだ	か、事業を実施す	る「本来の目的」を記	[人)		
	שט		なび交通安全意識	の高揚を図る	ための啓発活動等	<b>等や地域住民を交通</b>	事故		
		から守る。							
		(主な事業、活動内容等)							
	実		通安全運動実施 (	春・夏・秋・タ	年末)				
	施内	<ul><li>・県下一斉街頭</li><li>・イベント等で</li></ul>							
事	容	・自転車点検	0人是正生						
務		・啓発活動等							
<b>43</b> 5			(どのような	団体か、活動目	目的、活動内容なる	<u> </u>			
概		交通安全協会(緑・西淡・三原・南淡)各支部及び南淡ブロック交通対策委員会							
要	団								
女	体(								
	の概								
	要								
		事務局の所在	■ ┃ ☑ 補助団体	市役所	□ 市単位 □ 旧町単位	(	<u> </u>		
		(直接事務執行部署			旧村単位	(	)		
		I	日町からの引継ぎ	•					
	補助	金算出根拠							
	4-15-								
	補助	<b>  交付期間                                   </b>	<mark>・ 平成</mark> にキリスの事業引	年度~	<mark>平成</mark> 年 時における事務調	F度 ☑ 設定なし ■数線線)	'		
合併		日緑町 🔽 旧西							
協									
議									
事。									
調									
整									
務調整内容									
Ħ									

				亚代 17左南	亚代 1 0 左座	亚代 1 6 左座	亚岸 2 0 左旁
				平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
	直接事務費 (千円)			1,790	1,790	1,520	1,520
		交通安全協会各支	部補助金	1,790	1,790	1,520	1,520
	1	事務局事務費(市が事剤	8局の場合)				
	財源 (千円)						
資	国						
源	県						
配		起債					
分		その他					
., (		一般財源[A	.]	1,790	1,790	1,520	1,520
インプ	人件費(正規職員)[B] (千円)			0	0	0	0
	平均人件費(1日当り)			30.7	29.9	30.1	30.1
		事業量1(事業に要し					
ls d		事業量2(事業に要					
1	年間経費([A]+[B])			1,790	1,790	1,520	1,520
	「構成人数」一人当り経費 (千円)			6.1	6.1	5.2	5.2
	受益者。	<mark>人数(</mark> 53,374 <mark>)1人当じ</mark>	)経費(千円)	0.0	0.0	0.0	0.0
	経費に閉 補足部						

Ⅲ Check (事業の自己評価・一次評価)

【(費用対効果の分析、問題点・課題などを記入。)

費用対

効

要

性

現交通指導体制で事故防止啓発活動、交通安全教育推進が図られている。各種団体役員が地域での交通事故防止、街頭よびかけ等することにより事故防止の効果が高い。

交通事故の被害者は交通弱者(老人・子ども等)であり、交通指導員はそれらの人を対象に、1年間のスケジュールを立て、計画している。平成18年夏の交通事故防止運動から婦人会、老人会、自治会も南あわじ市交通対策協議会に加入し、市民全体での組織づくりができ、一層交通安全対策が実施できる。

点評 <sub>)</sub> 価

4

(自 5己

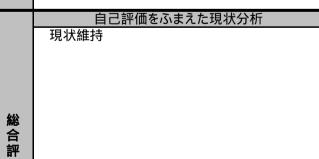
公共性の高低 図高 ロ中 低

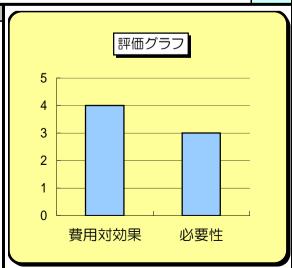
(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。)

交通安全対策協議会等推進母体に相互の連携を図りこの運動を関係機関・団体に徹底 させるとともに、それぞれの機関・団体の特性に応じた具体的な実施計画を策定し、積 極的な交通安全活動を展開する。

(5点)自己評価

3





IV Action & Plan (改善・改革の内容及び次年度以降の計画)

10			3/又()/火牛/長以(阵()/ā  凹/   平成21年度以降にできる中期的な改善・改革				
	平成20年度にできる改善・改革						
		事務局変更		□ 休止·廃止			
	□ 手法見直し □ 予算充実 □ · 地域における交通安全を確保するた	予算削減	手法見直し	→ □ 予算充実	□ 予算削減		
今	垃圾にのける交通女主を確保するに  安全広報・啓発活動などの交通安全対		同左				
後の	ては公益性が高く、今後とも、公益性						
後の方向性とその	ら市が支援すべき経費については補助						
向	必要がある。						
性							
ح							
そ							
<u>စ</u>							
理由							
現							
具状体維							
的持							
な以							
改外							
善の							
方場							
法合							
改							
■ 再 現							
に状							
6 維							
て持							
期以							
待の							
さ場							
れ合							
क्ष							
改善によって期待される効果(現状維持以外の場合)							
	仮に補助金、交付金を廃止した場合に予測さ	カス髪郷/	プラス面、マイナ <i>)</i>	7面\			
	は、 自治会へ協力体制	100別音(.	ノノへ叫、ベイノ、	ヘ山 /			
(現状維持	Compositions of the composition						
状							
維							
廃持   止の							
の場							
影合							
影響記入							
記							
入							